Q-AOS

ブラウンバッグセミナー

Brown Bag Seminar No.075

オンライン
録画期間限定公開
(Zoom)
登録はこちら

2022 11.30(水) 12:10〜12:50

12:10-12:15 ◆ 演者紹介
12:15-12:40 ◆ プレゼン
12:40-12:50 ◆ 質疑応答

https://temdec-med-kyushu-u-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN_VUNb5OOSQtym23kfMupmHA

【技術支援】九州大学 Q-AOS & TEMDEC

人とロボットが共生する社会を目指して

司会：錢 琨 准教授 (Q-AOS 創発推進コーディネーター)

倉爪 亮 教授

九州大学大学院システム情報科学研究院情報知能工学部門実世界ロボティクス講座

近年、掃除ロボットや自動走行車など、ロボットやロボット技術を活用した機械を目にすることが多くなりました。ロボットは、今後、ますます人々の生活の場で使われ、近い将来、人とロボットが自然に共生する社会が到来します。本講演では、人とロボットが安全かつ快適に共生する社会を目指した技術について紹介します。

1967 年神奈川県生まれです。1991 年に東京工業大学修士課程を修了し、1998 年に東京工業大学で学位を取得しました。(株) 富士通研究所、東京工業大学助手、スタンフォード大学客員研究員、東京大学生産技術研究所博士研究員を経て、2002 年から九州大学助教授、2007 年から同教授を務めています。これまでに、文部科学省研究振興局学術調査官、システム情報科学研究院副研究院長、日本ロボット学会理事、計測自動制御学会理事、日本機械学会ロボティクスメカトロニクス部門部門長、日本機械学会理事等を務めました。また日本機械学会畠山賞、日本ロボット学会論文賞、日本ロボット学会功労賞、日本機械学会ロボメック表彰、日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス部門学術業績賞、計測自動制御学会システムインテグレーション部門研究奨励賞、日本ロボット学会フェロー、計測自動制御学会システムインテグレーション部門学術業績賞、日本機械学会フェロー、IEEE Senior Member、日本機械学会教育賞、日本機械学会ロボティクスメカトロニクス部門 ROBOMECH 表彰（学術研究分野）、SICE フェロー、日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス部門功績賞、計測自動制御学会システムインテグレーション部門部門貢献表彰などを受賞しています。現在、様々なサービスロボットの開発や医療介護分野でのロボット技術の活用に取り組んでいます。

Key Words

ロボット・フレンドリー社会
環境情報構造化
サービスロボット

Contact Information Kyushu University Institute for Asian and Oceanian Studies (Q-AOS) 744 Motooka, Nishi-Ku, Fukuoka-City, 819-0395, JAPAN Tel: +81-092-802-2603